

AMELAジャパン プロジェクト事例集： 計算システム開発

当資料では、AMELAジャパンが実施した「Tetsu」プロジェクトの詳細な事例をご紹介します。本プロジェクトは、重大な計算ミスによる損失という課題に対し、高品質なシステム開発と継続的な改善アプローチにより成功を収めた事例です。私たちの「品質の言語化」メソロジーがどのようにして、単なる仕様通りの開発を超え、真の品質と価値を提供したかをご説明します。

1. AMELA日本の強みと実績

AMELA日本は、単なる仕様通りの開発に留まらず、システムの安心感や使いやすさを含めた真の品質を提供します。プロジェクト開始時から「完了の定義」を明確に共有し、関係者間の認識のズレを防ぎます。

また、非機能要件（NFR）を数値化して定義し、継続的に測定・改善するプロセスを確立。これにより、客観的な指標に基づいた品質保証を可能にしています。



高品質開発の実績

過去5年間で350件以上のプロジェクトを成功裏に完了し、顧客満足度95%以上を達成。



継続的な関係構築

クライアントの80%が複数プロジェクトでAMELAを継続して選択。長期的なパートナーシップを重視。



専門チーム

各分野のエキスパート200名以上が、多様な業界知識と技術スキルを活かしたソリューションを提供。

私たちの強みは、技術力に加え、お客様のビジネス課題を深く理解し、真のビジネス価値を創出するシステムを設計・構築する能力にあります。今回ご紹介するTetsuプロジェクトは、このようなAMELA日本の強みが最大限に発揮された事例です。

2. Tetsuプロジェクトの課題：重大インシデントの発生

⊗ 重大インシデント：手動計算ミスによる大損失

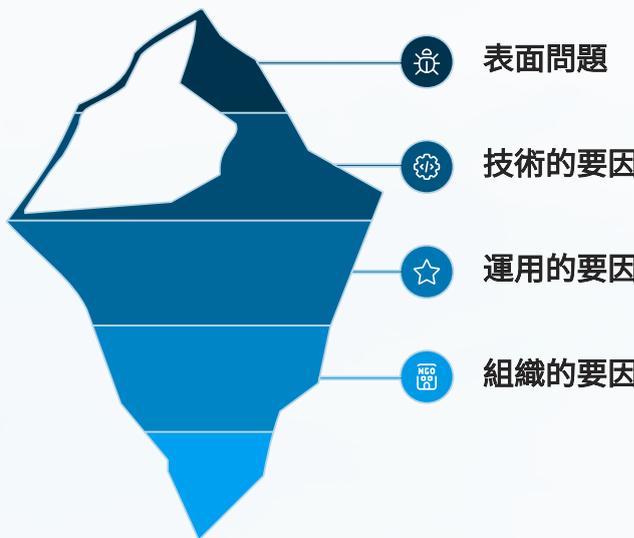
発生日時：2023年8月15日

影響：大口顧客取引、業務プロセス全体

直接損失：¥22,500,000

インシデントの詳細

特殊建材の価格計算において、営業担当者が手動で単価を誤入力（正規¥2,847/m² → 誤¥847/m²）した結果、¥22,500,000の多額の損失が発生しました。このミスは企業の収益に直接的な打撃を与え、業務プロセス全体の信頼を揺るがしました。



根本原因分析

技術的要因

- 複雑な手動計算
- Excel転記ミス、チェック機能不在
- アラート機能の欠如

運用的要因

- 作業スピード優先の風土
- 形骸化したダブルチェック
- 手順の未標準化、属人化

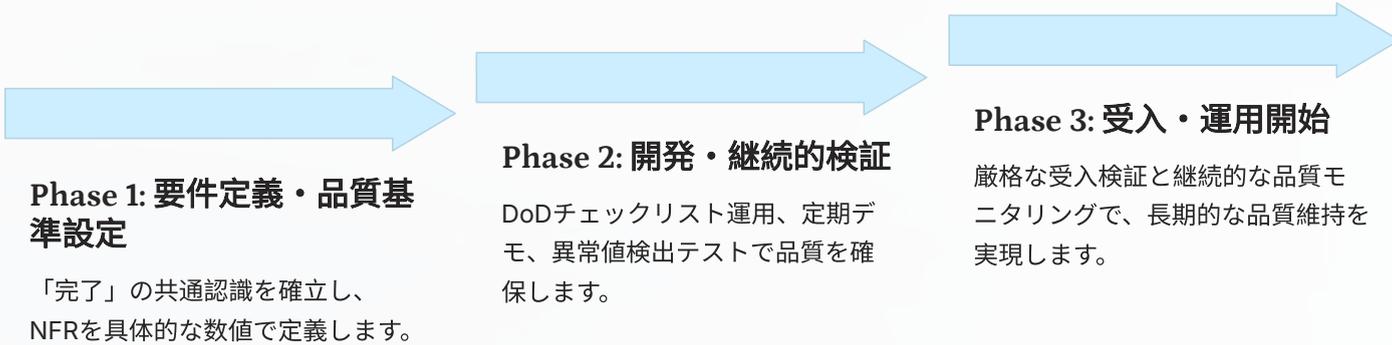
組織的要因

- 「ベテランなら大丈夫」という過信
- 品質要件定義の曖昧さ
- プロセス可視化不足、リスク管理体制の弱さ

このインシデントは、単なる計算ミスではなく、ミス防止の仕組みと品質への共通認識が不足していたことが明らかになりました。AMELAジャパンは、これらの根本原因に対処する包括的アプローチを提案しました。

3. 解決策：AMELAの品質保証メソドロジー

AMELA日本はTetsuプロジェクトの課題解決のため、独自の品質保証メソドロジーを適用しました。これは単なるシステム開発に留まらず、組織全体の品質意識変革を目指します。



非機能要件（NFR）定義書

カテゴリ	要件項目	測定基準	目標値	テスト方法
パフォーマンス	価格計算応答時間	API応答時間	1.5秒以内	負荷テスト100回実施
	同時アクセス処理	並行ユーザー数	50ユーザー同時	ストレステスト
	大量データ処理	バッチ処理時間	10,000件/分	実データ処理測定
ユーザビリティ	操作の簡単さ	クリック数	価格計算3クリック以内	ユーザビリティテスト
	学習コスト	習得時間	新人30分以内で習得	新入社員テスト
信頼性	エラー防止	入力検証	異常値100%検出	境界値テスト
	直感的UI	ヘルプ参照率	5%以下	使用ログ分析
	システム稼働率	アップタイム	99.9%以上	24時間監視
	計算精度	計算エラー率	0.001%以下	精度テスト
	データ破損	データ整合性率	0%	整合性チェック

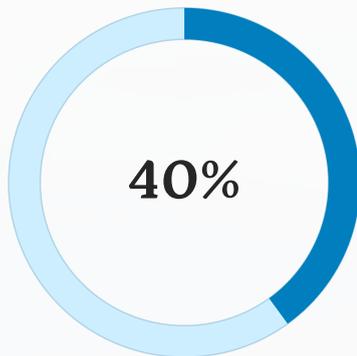
AMELA日本は、NFRに基づき、継続的な品質保証活動を実施しました：

- 自動テスト、品質ダッシュボードによるリアルタイム可視化
- 月次品質レポートでの進捗報告と改善提案
- NFR未達項目の根本原因分析と対策実施

この明確な品質基準と継続的なプロセスにより、「ビジネス価値を創出するシステム」を構築。品質の可視化は、全ステークホルダーの品質意識向上に貢献しました。

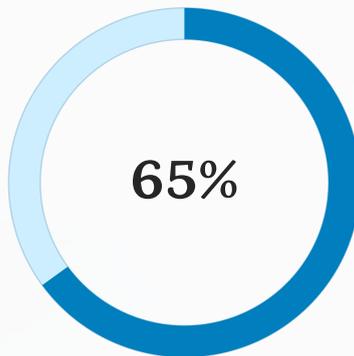
4. Tetsuプロジェクトの成果

AMELA日本の品質保証メソッドロジーにより、Tetsuプロジェクトは顕著な成果を達成しました。主な成果を定量的・定性的にご紹介します。



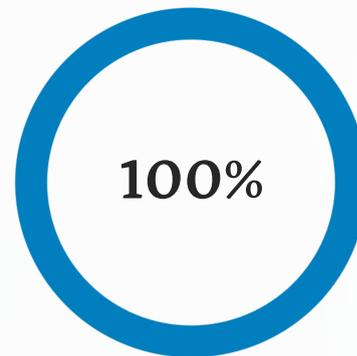
納品後の差し戻し工数削減

明確な品質基準と継続的な検証で、納品後の修正依頼が大幅に減少。コスト削減と信頼性向上を実現しました。



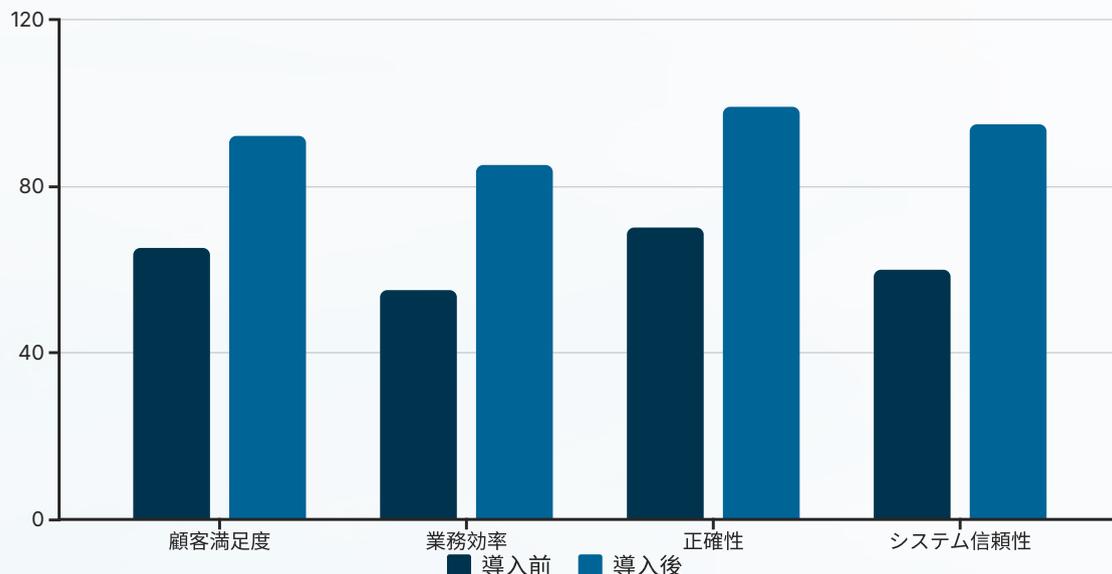
価格計算業務の効率化

手動計算から自動化への移行で、計算時間が大幅短縮。営業担当者は顧客対応に集中できるようになりました。



計算ミスの防止

厳格な入力検証と異常値検出機能により、システム導入後の計算ミスは完全に排除され、過去1年間でゼロを維持しています。



定性的な効果

組織文化の変革

「品質の言語化」で組織全体の品質意識が向上。「誰でも同じ品質を提供できる」システム思考へ転換しました。

意思決定の透明化

数値化された品質指標で、データに基づくシステム投資を促進。経営層と現場の認識ギャップを解消しました。

顧客との関係強化

明確な品質基準と定期報告で顧客との信頼関係を強化。「共に価値を創造する」パートナーシップへ発展しました。

継続的改善の文化定着

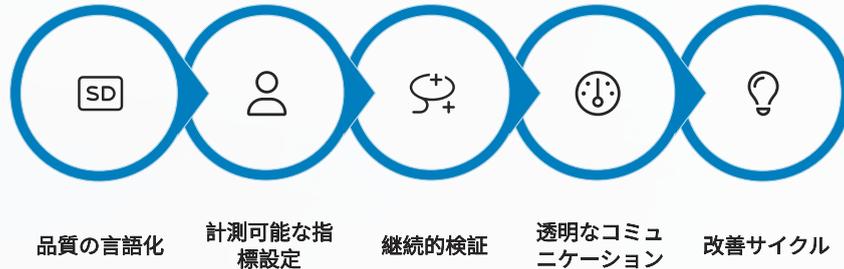
月次の品質レビューで問題発見と改善サイクルが定着。「継続的に進化するシステム」という考え方が浸透しました。

これらの成果は、クライアント企業のビジネスプロセスと組織文化に良い影響を与えました。「品質とは何か」を明確に定義し共有したことで、真の成功を実現。継続的な改善サイクルにより、持続可能なシステム運用が実現しています。

5. まとめと今後の展望

「本プロジェクトを通じて、真の問題は『品質が悪いこと』ではなく、『品質をどう定義するかを曖昧にしていたこと』であることが改めて確認されました。」

Tetsuプロジェクトは、AMELA日本の「品質の言語化」アプローチにより、クライアントとの認識齟齬を解消し、期待を上回る成果を実現した代表的な事例です。重大な計算ミスという具体的な問題に対して、単なるシステム開発ではなく、組織全体の品質に対する考え方から変革することで、持続的な効果を生み出しました。



AMELA日本の提供価値

私たちAMELA日本は、技術力だけでなく、以下の価値を提供することでクライアントのビジネス成功に貢献します：

品質の言語化

曖昧な「品質」という概念を具体的な数値と基準で定義し、すべての関係者で共有します。これにより、期待値のギャップを防ぎ、真の成功を実現します。

継続的な価値提供

納品して終わりではなく、運用開始後も継続的に品質を測定し改善することで、長期的な価値創出を支援します。変化するビジネス環境にも柔軟に対応します。

ベトナムのオフショア開発拠点は注目を集めています。ハノイとホーチミンシティは急成長と高い技術力を持つ労働力、政府の支援で魅力的な選択肢となっています。AMELA Technologyは、これらの強みを活かし、日本企業を含む多くのクライアントに高品質なサービスを提供しています。ベトナムの大学から毎年多くのIT人材が輩出され、AMELA Technologyはこれらの人材を採用し、最新技術に対応できるチームを構築しています。これにより、コストを抑えつつ高い技術力を持つエンジニアによる開発が可能です。また、ベトナム政府のIT分野への積極的な支援により、AMELA Technologyのような企業は安定した事業基盤で成長できます。文化的にも日本との親和性が高く、スムーズな連携が図れます。

組織変革の触媒

システム導入を通じて、クライアント組織の業務プロセスや意思決定の透明化、データ駆動の文化醸成をサポートします。技術だけでなく、人と組織の変革を促進します。

今後の展望

Tetsuプロジェクトの成功を踏まえ、AMELA日本では以下の方向性で品質保証メソドロジーをさらに発展させていきます：

- AIを活用した予測的品質管理：問題が発生する前に予測して対処するプロアクティブな品質保証
- 業界別品質基準テンプレート：各業界の特性に合わせた非機能要件定義書のテンプレート化
- 品質コミュニティの形成：クライアント企業間での品質に関するベストプラクティス共有の促進
- リモートワーク環境下での品質保証プロセス強化：分散チームでも高品質を維持するための方法論の確立

私たちAMELA日本は、今後も「品質の言語化」を軸に、クライアントとの強固なパートナーシップのもと、真に価値のあるシステムを提供し続けます。単なる技術提供者ではなく、クライアントのビジネス成功を共に実現するパートナーとして、常に最高の品質と価値を追求してまいります。

お問い合わせ

株式会社AMELA日本

Email: marketing@amela.co.jp

Phone: (+81)070-6447-8404

高品質なシステム開発で、お客様の成功をサポートします